



陳情対応



古川ひろのりは、陳情対応をしています。

- 日時：毎月第1土曜日 13:00～15:00
- 場所：ツナガリエ石橋会議室
- 予約：陳情・打ち合わせには、ご予約が必要です。
090-2432-2799 (古川携帯)

2023年
秋号

【発行元】古川ひろのり事務所 池田市石橋1-22-15-302

古川ひろのり略歴



- 1954年 池田市生まれ、北豊島小、北豊島中(19期生)、池田高校(24期生)
- 1972年 早稲田大学商学部(早稲田大学国際部交換留学生として1年間米国留学)
- 1977年 三井物産入社、同社エネルギー・情報産業本部(米国勤務10年間)
- 2000年 株式会社ホリプロ取締役経営企画室長
- 2005年 TOEIC935点
- 現在 池田市議会議員(大阪維新の会 池田)、総務委員会委員、まちづくり特別委員会委員
一般社団法人彩志義塾(ダイバーシティ、女性活躍推進の「立志塾」運営)
石橋読書会会長、自称ウォンバット応援団長
ビジネス書著者(32冊)



古川ひろのり公式サイトを
ぜひご覧ください!



次世代のために
池田を変える!

3^{プラス}+**α**の主張

1

グローバルな
子供たちを
育てる

2

人口減少に
歯止めを
かけたい

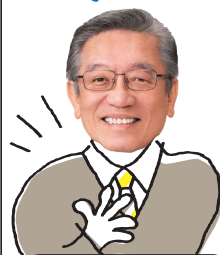
3

子育てと、
女性活躍推進の
街とする

α^{プラス}

ウォンバットも含め
池田発の
エンタメ文化を
構築する

古川ひろのりの
好きな言葉



先人は多くの
言葉を残し、
後世に順送り
してくれてい
ます。

▼知行合一 (ちこういちいつ)

陽明学の王陽明の言葉とされる。
行動しないと本当に知っていることとは
ならない。
言行一致より強い言葉。

▼独立自尊 (どくりつじそん)

福沢諭吉の言葉。
人の自立の重要性を説いた。
福沢諭吉の戒名は
「大観院独立自尊居士」

▼不易流行 (ふえきりゅう)

松尾芭蕉の言葉と言われる。
「不易」とは、世の中は変わっても変えて
はいけない大切にすべき考え方。
「流行」とは時代の変化とともに変えて
いかなければならない部分。

前例主義を踏襲するのではなく、大切な
部分だけは残し、その他は時代の変化に
柔軟に対応すべき。

▼下足番になるなら日本一の下足番に
なれ。そうすれば、誰も君を下足番
にはしておかない

小林三三の言葉。
与えられた仕事に全力を尽くせ、
見ている人は見ている。
自分の人生を築き上げよ。

6月議会一般質問から

古川ひろのりは、6月議会で次の一般質問を質問しました。

1 生産性について

- ムリムダムの排除を戦略の一つとして機能しているか
- 中長期計画にはミッション・ビジョン・バリューを明確にする必要はないか

2 人口減少問題について

- 人口達成目標値の直近現状について
- 女性活躍推進の課題・問題点について
- シティプロモーションの戦略について
- ウォンバットの市有写真の一般への使用許可とイラストなどのコンクールについて
- ふるさと納税の現状について

▶遠い昔の新入社員時代を思い出しています。当時は怖い上司に叱られてばかりでした。この度は、行政も議会も知らないことばかりで、たくさんの学びを得ています。ただ、いい歳ですので、新しい学びがとても新鮮であり、大いにエンジョイしております。

▶ムムー、書類が多い。正しい日本語なのかもしれませんが、説明が多すぎて何が大切かわかりにくいかも。A4で1ページの要点説明が欲しいと感じます。

新米議員の感想



皆さまからの陳情対応にも尽力いたします!



古川ひろのり公式ホームページはこちらから

地域活動

石橋読書会 毎月第2水曜日、2水会です

●対象：老若男女不問。自分の成長、キャリアアップ、後進育成などに興味のある方、異業種との交流をしたい方、就職前に何をしておくべきかと考える大学生など。

世田谷ビジネス塾(姉妹読書会)は、2008年から、石橋読書会は2018年から行っています。

●日時：毎月第2水曜日18:30~20:00

●場所：ツナガリエ石橋会議室

●費用：無料

●内容：ビジネス書、自己啓発書、歴史書(小説可)、伝記など主に人の成長につながる書籍を紹介しあい、議論します。

「本を紹介するもよし、議論参加だけでもよし、聞いているだけでもよし」。

★フェイスブック石橋読書会参照。

Facebook →



石橋読書会主催講演会

池田を愛した小林一三 ～ 明治の起業家の志～

●講師：公益財団法人阪急文化財団 理事

小林一三記念館館長 仙海義之氏

●日時：2023年11月25日(土)開場14:30、講演15:00~17:00

当日最新著書「タカラヅカを創った小林一三と明治のリーダーシップ」(古川ひろのり)を発表予定

●場所：池田商工会議所 会議室D 池田市城南1-1-1

●会費：2,000円

●主催：石橋読書会、小林一三ファンクラブ

●後援：池田市、公益財団法人阪急文化財団、池田商工会議所

プロフィール 小林一三

1873年(明治6年)1月3日~1957年1月25日。

阪急電鉄、宝塚歌劇団、阪急百貨店、東宝をはじめとする阪急東宝グループ(現・阪急阪神東宝グループ)の創始者。山梨県出身、慶応義塾で福沢諭吉に学び、三井銀行に勤務後、大阪で電鉄事業に携わる。

池田市を終の住処と決め、池田市の将来を描き、地元の政治家や経済人を支援した。



講演会参加お申し込みはこちらから

良書紹介

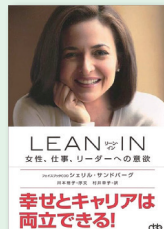


書籍はたくさんのごを教えてください。石橋読書会にもお越しください。



「生産性」(伊賀泰代)

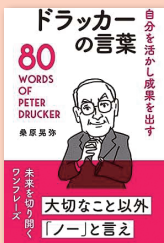
生産性を高める重要性を説く。働き方改革やイノベーションに必要。かつて日本の工場は生産性向上を図ったが、ホワイトカラーのそれは今も低く、世界水準に達していない。「立志塾」定番課題書。



「Lean In」

(シェリル・サンドバーグ)

女性活躍推進の教科書。インポスターシンドロームとは? 人生はハシゴではなくジャングルジムである。「立志塾」定番課題書。



「自分を活かし成果を出すドラッカーの言葉」(桑原晃弥)

大切なこと以外NOと言え。

先ずは、不要・不急なことを止めよ、そして成果が出せることに集中せよ。

ドラッカーのたくさんの書籍は、言葉の意味が深すぎて時として読みにくいですが、本書は平易な言葉で説明する。

ドラッカーは、経営の神様と言われているが、病院やNPO経営の専門家でもある。